マンガ 男女共同参画 ガイドブック『真奈美、高1・16歳』

3月末発行予定！

主人公の真奈美が学校生活の中で起こるさまざまなできごとを通して、ジェンダーの問題に気づく姿をマンガにしました。みなさまに気軽に手にとっていただける冊子です。ご期待ください。

お問い合わせ　情報課 TEL.093-583-5082

男女共同参画

『紙芝居コンクール入賞作品』が決定しました！

審査委員
- 松井　エイコ氏（壁画家、紙芝居作家）
- 湯淺　墾道氏（九州国際大学副学長）
- 北野　久美氏（北九州市保育士会会長）

最優秀賞『みかりんとたもちょ』
萩岩（はぎいわ）　睦美（むつみ）（脚本・絵）

優秀賞『まるまるおにぎり』
杉山（すぎやま）　英子（えいこ）（脚本・絵）

佳作『ゆうくんのランドセル』
鯨臥（いさふし）　瑞穂（みずほ）（脚本・絵）

佳作『そらいろのランドセル』
菅原（すがわら）　安子（やすこ）（脚本・絵）

審査員講評
入賞作品は、美しい色彩の絵と起承転結のあるストーリーによって、男女共同参画を人間の生きる喜びとして、描いています。作品の世界が広がる中で、共感が生まれるという紙芝居の特性を生かして創られた作品です。

最優秀賞『みかりんとたもちょ』優秀賞『まるまるおにぎり』はムーブ図書・情報室で貸出しています。ご活用ください。

お問い合わせ　情報課　TEL 093-583-5082

紙芝居講演会

第１回　平成22年10月9日（土）
『すばらしい紙芝居の世界にどうぞ～その魅力の秘密～』

第２回　平成22年12月11日（土）
『紙芝居 演じるよろこび』

講師　松井　エイコ氏（壁画家・紙芝居作家）

男女共同参画紙芝居コンクールにあわせて、紙芝居講演会を開催いたしました。紙芝居の特性や選び方とその素晴らしさ、紙芝居に対する熱い思いを語っていただきました。また、紙芝居の演じ方や参加者と講師による紙芝居の実演も行いました。盛りだくさんの内容で、参加者からは大変好評でした。

平成23年度 講座のお知らせ

資格＆語学講座
パソコン講座（年6期）
ネイリスト検定3級講座
（全17回）5～7月

人気講座
よくばり女性のための
キャリアアップ＆ビューティー講座
（全4回）6月～
内面も外見もキラキラと！働く女性のキャリアアップに役立ちます。

new講座
ママのリフレッシュ＆
パパのヒーロー計画講座
（年2回）6～7月、11～12月
ママは日頃の疲れをリフレッシュ、パパはイクメンに！

リニューアル講座
男の料理 エプロン男子
（年2回 開催予定）
男性に料理の楽しさを！

※詳しくはホームページなどをご覧ください。

編集後記
地球温暖化の影響のためか酷暑、大雪など異常気象の続いた平成22年度でしたが、皆様お変わりありませんか。平成23年度のムーブフェスタは、7月9日（土）～31日（日）開催予定です。詳細は6月発行予定の次号「ムービング」でお知らせします。どうぞ皆様お誘い合わせの上お出かけください。

北九州市立男女共同参画センター ムーブ
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号
TEL.093-583-3939 FAX.093-583-5107
ホームページアドレス ◆ http://www.kitakyu-move.jp
E-mail ◆ move@move-kitakyu.jp

平成18年度から北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者
KFAW 財団法人 Kitakyushu Forum on Asian Women アジア女性交流・研究フォーラム

アクセス
- JR西小倉駅より徒歩　約15分
- 西鉄バス→「九州厚生年金会館・ムーブ前」下車
  小倉駅バスセンター　27 45 110 134 138　小倉都心100円周遊バス　小倉駅前　76 79
- 北九州都市高速　勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

PRINTED WITH SOY INK
この冊子は再生紙及び環境に優しい大豆インクを使用しています。

Moving ムービング 2011年2月28日発行（季刊誌） vol.63
発行　北九州市立男女共同参画センター・ムーブ
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 TEL(093)583-3939 FAX(093)583-5107
制作・印刷　株式会社 西鉄エージェンシー　表紙イラスト 中島由紀子

Moving

北九州市立男女共同参画センター ムーブ 情報誌 ムービング

vol.63

にゃんともすてきな未来…。

Moving eye　女性の配偶関係別労働力率

平成21年の女性の年齢階級別労働力率上昇率（10年前と比較）

【最高】30～34歳　10.5ポイント

配偶関係別に見ると、上昇率は未婚者0.6ポイント、有配偶者9.0ポイント。25～29歳の有配偶者の上昇率は9.4ポイント

出典：総務省統計局「労働力調査」より

contents

- 講座実施報告
- 特集 次世代リーダーを考える
  「国際社会の平和と繁栄に貢献できる人をめざして」
  秋月　弘子（亜細亜大学　教授）
- 平成22年度誌上講座第3回　雇用不安の時代をどう生きるか？
  「非正社員激増の中で進む正社員の憂うつ」
  竹信　三恵子（朝日新聞　編集委員兼論説委員）
- 広報誌制作ラボ隊が ムーブ相談室 特別相談員さんに聞きました！
- お知らせ

おとこのライフセミナー

男女共同参画社会の実現のためには、男性も仕事だけでなく、家庭や地域に積極的にかかわることが求められます。男性も女性もタイムマネジメントや生き方を新たな視点から見直すことが必要になってきます。そこで、今年度は様々な分野で活動されている男性講師を招いて、今後の人生の糧となるよう、その体験や生き方、考え方について講演いただきました。

平成22年9月22日(水)19:00 ～ 20:30

人生のターニングポイント ～私の映画人生～

■講　　師　羽住 英一郎 氏（映画監督）
■ナビゲーター　立山 律子 氏（クロスFM DJ）

この日北九州市文化大使になられた羽住監督に、「幼い頃の夢は小説家だったが、スピルバーグなどに影響され、自分が映画を観てワクワクドキドキハラハラした気持ちを大勢の人にも感じてほしいと思い、映画監督を目指した。これからも劇場に来たお客さんが感動するような映画をつくりたい」など、話題作を作り上げていく背景を語っていただきました。私生活では、進んで家事をしたり、家族の時間を大事にすることを心がけているそうです。最近の撮影現場では、照明部や撮影部など、力が必要なところにも女性は増えているそうです。ただ、育休は「『何年も休んだら自分の居場所がなくなるのでは』と取得する人は少ないが、現場でどんどん前例を作っていけば、増えていくのではないか」とお話されました。

平成22年10月23日(土)13:00～15:00

人生のターニングポイント ～夢を叶えるメッセージ～

■講　師　川原 尚行 氏
（NPO法人ロシナンテス理事長）

北九州市で生まれ育った川原さんに、ご自身の経験をもとに参加者へメッセージをいただきました。「九州大学医学部から日本大使館の医務官として初めて行ったアフリカに魅せられて、外務省に入省し、スーダンに赴任したが、医務官は直接患者を診ることができず、疑問を感じたため外務省を辞職した。肩書きがないことの無力感を感じつつ故郷北九州に帰ると仲間が温かく迎えてくれ、共にスーダンで活動を始めた」と話されました。社会基盤が整えば争いを防げるのではと、医療・水・教育など社会インフラ整備に力を注いでいるそうです。「自分がしていることは、ハチドリの一滴かもしれない。しかし、今自分ができることをやろうとする意志が大事。それぞれの舞台、それぞれの立場でできることはあるので、お互いを尊重し、社会を良くしていきたい。仲間がいて、家族それぞれが頑張っているからこそ、自分も頑張れる」とお話されました。

よくばり女性のための キャリアアップ&ビューティー講座

講座風景

10月16日(土)～11月6日(土)　4日間

コーディネーター　新開 よしこ 氏（キャリアカウンセラー）

アラサー、アラフォーの働く女性16名を対象に、「メイク&トータルコーディネート」「プレゼンテーション・チャンスを活かす話し方」「気持ちが軽くなるコミュニケーション」「キャリアアップ～ 5年後の輝くビジョン」の内容で開催しました。

受講生からは、「北九州の様々な業種で働く方々と知り合えたことが一番の収穫」「人生のモチベーションが大幅に上がった」「どの内容も本当に刺激を受けた」などの感想が寄せられました。働く女性にとって、内面も外見もキラキラと輝く女性になる有意義な講座となりました。

男女共同参画講座

毎年さまざまなテーマを取りあげている男女共同参画講座。今年度は、「貧困の女性化－突破口としての『農』の可能性を探る」というテーマで、平成22年12月4日(土)に講演会と事例発表、ワークショップを行いました。

●講演会●

豊かな国日本に広がる貧困の女性化 －その要因、解決策は何か

●講　師　木本 喜美子 氏（一橋大学大学院社会学研究科教授）

これまでは、終身・長期雇用が日本的雇用慣行でした。男性が働き手であり、女性が専業主婦というのが家族の代表的モデルで、日本には女性の貧困はないと思われていました。ただ、それは女性が自立困難ということ、家族に包括されていて女性の貧困が見えづらかっただけで、家族の在り方が変化してきた今、女性の貧困は可視化してきました。しかし男性の陰で注目されにくい女性の貧困の最も根源的な問題、そのことは、日本の若年層全体に関わる問題であるとお話されました。

●講演会● イケてる『農業』のススメ

「ギャル革命」－若者と大人の架け橋になりたくて

●講　師　藤田 志穂 氏（ノギャルプロジェクト代表）

茶髪に、濃メイク、ルーズファッション。なぜ「ギャル」だと就職がないの？就職活動で知った社会の壁。そこで「ギャルでもできる、ということを証明しよう」と、19歳でギャル仲間9名と起業。2008年に独立して、祖父の故郷秋田の田んぼでコメを作りネットで販売する「シブヤ米」をプロデュース。都市の住民にも農業の面白さをと企画した親子・若者農業体験ツアー、スタイルを気にする若者にコメの良さを知ってもらいたいと考案したボディフォルムのペットボトル入りシブヤ米「アグリメント」、農業をおしゃれにとのコンセプトでエドウィン社と企画提携したノギャルファッションなど、次々に農をプロデュースしています。社会のドレスコード（服装規定）の壁から始まった藤田さんのギャル革命のエネルギーは、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加の是非をめぐり議論が二極化する中、着実に農の魅力を次世代へとつなぎ、農のイメージとスタイルをイノベートし続けています。藤田さんの発想と行動力は、雇用環境の悪化が続く中、何かもうひとつの道を切り開く可能性に気づかせてくれます。

●事例発表●　誰にでもできる「農」や「食」活用法
●カフェテリア方式参加型トーク●　「農」や「食」の未来プロジェクト

●講　師　清水 なおみ氏（パン工房米っこ）
高木 美智子氏（合馬農産物直売所）
向井 恭子氏（小倉焼うどん研究所）
清水 千絵氏（北九州市産業経済局農林水産部地産地消推進課）
●ゲスト　藤田 志穂氏（ノギャルプロジェクト代表）

事例発表では、講師の方々が置かれている状況、取り組みなど、具体例を交えながらお話くださいました。講師のみなさんも、もっと北九州の「農」や「食」を広めていきたいと強く思っていると話されていました。

参加型トークでは、講師の方々に各班のリーダーとして班員の疑問に答えてもらったり、未来への取り組みについて助言をいただきました。参加者の皆さんには、「夢プロジェクト」と題して、今後してみたいことを記入してもらい、その中から心に残る夢に、ゲストの藤田志穂さんからシブヤ米がプレゼントされました。

女性起業家支援塾 2010

11月6日(土)～21日(日) 5日間

毎年大好評の「ムーブ女性起業家支援塾」は今年で15回目を迎えました。

この不況下、26名の夢と目標を持った女性が、コーディネーターの佐々木　茂氏（中小企業診断士）を始めとする講師から、起業に必要な知識を学びました。

初日に男女共同参画をクイズ形式で楽しく学ぶことからスタート。起業した卒塾生が「起業する際、大変な時、支援塾の仲間がいつも支えてくれた。とても感謝している。だからみなさんもこの仲間と絆を作って欲しい」と熱く語りました。その後、職種別に分かれて事業計画に真剣に向き合う受講生たち。

2日目は、ビジネスプラン、PR、マスコミ活用術を学んだ後、大先輩の卒塾生からのアドバイスにパワーをもらいました。

3日目は、お金に関する基礎知識、事業計画の作成、ライフデザインの考え方に大感激でやる気倍増。

4日目は、融資のポイントや事業開始前後にやるべきことを学びました。

最終日は、資金調達の基礎知識やネットの情報発信について講義を受けた後、事業計画を完成させて発表。

5日間の講座を終えた受講生からは、「役に立つ内容だった」「目標が明確になった」「初日はわからなかったが学習していくうちに楽しくなった」「講師の方々が本当に丁寧にアドバイスをしてくれた」と満足度も高く、起業家として成功することが期待されます。

またムーブでは、女性起業家を目指す方へのフォローアップセミナー、相談会も行っております。ぜひ、ご参加ください。

特集 次世代リーダーを考える

働く女性の活躍を表すウーマノミクス（Women（女性）+Economics（経済））が社会の活性化の鍵として注目されていますが、経済活動にとどまらず、今までは潜在的な社会資源だった女性たちが創り出す多様性が現在大いに期待されています。そこで本特集では未来に向けて広く先を見通す力とグローバルな視点をもち、様々な分野で活躍することが一層求められている次世代リーダーの資質について考えます。

国際社会の平和と繁栄に貢献できる人をめざして

秋月 弘子（亜細亜大学 国際関係学部教授）

Profile

国際基督教大学大学院行政学研究科博士後期課程修了、博士（学術）。
バークレイズ銀行東京支店、国連開発計画（UNDP）プログラム担当官、北九州大学外国語学部国際関係学科助教授、コロンビア大学国際機構研究所客員研究員等を経て、2002年より現職。

よく学生から「国連職員になるためには、どのような能力を身につけるべきか？」と聞かれる。筆者は、①英語、フランス語、スペイン語のうち2カ国語で職務遂行可能な語学力、②最低でも修士号を持つ専門性、③実社会での勤務経験、④途上国や危険な地域における過酷な任務に耐えうる健康と体力、と技術的な能力について答えることが多い。しかし本当は、「人間性」が一番大切だと思っている。では、次世代リーダーに求められる人間としての内面的な資質とはどのようなものだろうか。

1. 他者を利する心

筆者の恩師は、「自分の能力も、自分がおかれている環境も、すべて神が与えてくれたギフトである。だから、それらを自分のためだけでなく、他人のために使うべきである。」と教えてくれた。リーダーとなる人は、その地位を自分の利益のために利用するのではなく、自分が所属し、率いるべき社会集団（家庭、学校、会社、地域、コミュニティ、国など）の構成員である他者の利益を考えて行動すべきである。

国連開発計画（UNDP）で勤務していた時、カナダ人の同僚が「上司が私のプロジェクトに口を出す」と不満を述べていた。筆者が「誰のプロジェクトであろうと成功したのだからUNDPとして喜ぶべきではないか」と言うと、「日本人はそのように考えるの？」と驚いていた。個人の主張が前面に出がちな西洋人にとって、組織全体の利益を自分のことのように喜ぶ日本的な考え方は珍しいのだろうか。しかしリーダーは、自分の手柄を誇示するのではなく、他者の利益、全体の利益を第一に考えて行動すべきである。「何をやるか」ということよりも、「どのような想いでやるか」ということがリーダーの資質を決めるのである。

国際社会は、文化や価値が多様な社会である。国際社会でリーダーとして活躍するためには、多文化理解が不可欠であることは言うまでもない。しかし、目の前に見える事象、聞こえる声にだけ応えるのでは不十分である。アフリカの奥地で紛争におびえる子どもたち、栄養失調で力なく泣く子どもの声など、「見えないものを見る努力」、「聞こえない声を聞く努力」も忘れてはならない。

2. 与えられた環境の中で、何事にも誠実に取り組める力

「自分がおかれている環境も、すべて神が与えてくれたギフト」であるとするならば、リーダーは、与えられた環境の中で何事にも誠実に取り組むべきである。国連憲章も国連職員に求められる資質として「最高水準の能率および誠実」を挙げている。上司が理解してくれないとか、同僚の協力が得られないという不平不満は、他者への責任転嫁でしかない。どのような環境の中でも誠実に任務に取り組む姿を周りの人は必ず見ており、そのような努力ができる人だからこそ他者もついて来てくれるのである。

さらに、職務上「やらなければいけないこと」だけをやっているようではリーダーとはなれない。「やらなくても良いこと」をあえて他者のために行うことにより、価値あるリーダーとなれるのである。

3. 常に進歩向上を目指し、努力を継続できる力

リーダーは、1日たりとも現状に留まっていてはいけない。昨日よりも今日、今日よりも明日と、常に進歩向上を心がけるべきである。「継続は力なり」と言われる通り、向上を目指して努力を継続する中でこそリーダーとしての本当の能力は培われるであろう。時には怠けたいという誘惑にかられることもあるかもしれない。しかし、自分の敵は自分自身の怠け心であることを常に心に留めておくべきだろう。

国際社会は今、内戦、貧困、差別、憎悪に満ち溢れている。平和で、豊かで、すべての人が幸せになれる社会を構築するためには、社会をより良い方向へ「変革する」という次世代リーダーの「強い意志と能力」が必要とされている。

◆ 誌上講座 ◆ 第3回

テーマ
雇用不安の時代をどう生きるか？

Profile

竹信（たけのぶ） 三恵子（みえこ） 朝日新聞 編集委員兼論説委員

朝日新聞入社後、経済部記者、シンガポール特派員、学芸部次長などを経て、2007年より現職。著書に『ルポ 雇用劣化不況』（岩波新書 2009年）など多数。雇用問題について長年の多角的報道実績が評価され「貧困ジャーナリズム大賞2009」を受賞。

非正社員激増の中で進む正社員の憂うつ

派遣労働やパートなどの非正社員の低賃金や不安定さが社会問題として注目される中で、「正社員になりたい」という人が増えている。しかし、非正社員の増加は、正社員の働き方にも大きな変化をもたらした。正社員になったから安心ともいえなくなっている点が、雇用不安の時代のもうひとつの側面だ。

正社員と非正社員を分けるのは、雇用契約が無期か、有期かという点だ。有期とは、3カ月、1年といった短期間の労働契約だ。無期とは、倒産したりして仕事がなくならない限り、原則として定年まで期限なしで働ける契約で、落ち着いた文化的な生活を送るための基礎と言われる。無期雇用が働き方の基本とされているのはそのためだ。

だが、非正社員が3人に1人に及ぶ中で、正社員はいま、くるくると変わる非正社員のすき間を埋める形で、大きな負荷がかかるようになった。たとえば、東京都内の24時間営業の低価格商品チェーン店の25歳の店長は、パートが集まらずに人手が足りなくなると、「正社員だから」と自身がその分、店に出て働き、月300時間労働という時期まであった。賃金を自分で決める権限がないので、パートが集まらなくても条件を引き上げられず、自力で穴を埋めねばならなかったからだ。年収は300万円だったが、あまりの長時間労働に、労働時間で割った時給ベースでは最低賃金を下回ることもあった。その結果、1年でうつ病になり、会社を休まざるを得なくなり、それを理由に解雇された。

成果主義の広がりも、正社員の不安定化を招いている。成果が賃金に反映される仕組みは公平なように見えるが、毎年の査定で賃金が上下するため不安が強まり、しかも、成果を測るものさしが恣意的で、働きをきちんと測れるものでない場合が多く、社員の反発を買った企業もあった。求められる成果が上がるまで働かねばならないという圧迫感で、残業を重ねて体を壊したり、成果が上がらないから解雇されてもしかたないと自分を責め、解雇の不当さを問えなかったりする例もある。

非正社員の自立できない低賃金を基準に、「正社員は高すぎるのでもっと働くように」との圧力にさらされ、長時間労働を受け入れてしまう例もある。

2008年のリーマン・ショックの際には、「正社員切り」として、正社員に対しても大幅な解雇が行われた。このとき、無期雇用のはずの正社員に対し、簡単に「必要なくなったのでやめてほしい」ともちかける例が目立った。期限が切れたらクビにできる非正社員の扱い方が当たり前になり、正社員の解雇にも抵抗がなくなったからではないかと見られている。

こうした中、パートの増加で働き手の労働時間全体は減ったものの、30～40代の男性では週60時間以上働く人が5人に1人弱もいるなど、正社員の労働時間は高止まりしている（グラフ）。労働時間の長さや非正社員の増加による負担の強化、ストレスの中で、労働災害として申請された過労によるうつ病や過労自殺などの件数は、2009年、過去最高を記録した。

そんな働き方では、出産や育児など家庭との両立も難しく、保育園の不足ともあいまって、最初の子どもの出産を機に、働く女性の7割近くが仕事をやめている。

状況を改善するために、政府も、2010年春から週60時間を超えた分の残業の割増率を、これまでの25%から50%に引き上げるなど、残業への負荷を重くした。また、ワークライフバランス政策として、2020年までに「フリーターの数を現行の約178万人から124万人に減らす」「年次有給休暇の取得率を47.4%から70%にまで上げる」などの数値目標を掲げている。

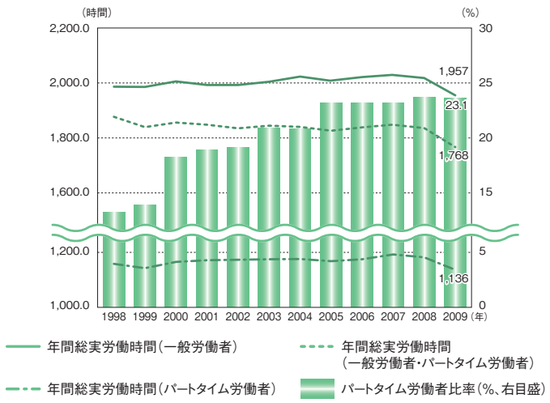
だが、根本的には、人件費減らしで利益を上げようとする経営哲学を見直し、付加価値の高いサービスや商品、本当に人々が必要なものを開発することによる利益の向上へ向けた経営側の発想転換が必要だ。

働き手も、労組や地域のユニオン、働き手同士のネットワークなどを強め、極端な長時間労働や過剰な負担に歯止めをかけていく必要がある。

また、消費者も、24時間ショップなど働き手の犠牲を土台にした便利さを過度に求めないなどの発想の転換が問われている。

正社員の中には、自らの労働条件を守るためとして、非正社員の労働条件悪化を容認したり、非正社員の増加を歓迎したりするような行動も一部にみられる。だが、正社員、非正社員問わず、同一の価値の労働には同一の賃金や待遇という公正な働き方のルールの確立なしでは、「安くて便利」と非正社員を増やし、正社員減らしに向かう風潮に歯止めをかけることは難しい。公正なルールづくりが、長い目で見れば正社員自身をも救うということを、自覚すべき時だろう。

就業形態別年間総実労働時間とパートタイム労働者比率の推移



（備考）1. 厚生労働省「毎月勤労統計調査」より作成。
2. 事業所規模30人以上。
3. 年間総労働時間は年平均値を12倍したもの。

ムーブ相談室　特別相談員の黒瀬さんに聞きました！

「広報誌制作ラボ講座」を
受講した広報誌制作ラボ隊メンバーが、
ムーブ相談室の黒瀬まり子特別相談員に
インタビューしてきました！
（11月27日）

広報誌制作ラボ隊

黒瀬（くろせ） まり子さん

Profile
臨床心理士、博士（学術）
東亜大学大学院
非常勤講師

Q.現在のお仕事についておしえてください。

ムーブ相談室や、こころの相談室かもみ～る でジェンダーの視点からカウンセリングを行っています。ムーブ相談室での勤務は約10年になります。

Q.相談を受けるにあたり心がけていること、また大切にしていることをおしえてください。

常に自分の気持ちを整えて、ニュートラルな状態を維持するように気をつけています。

そして相談者の気持ちに寄り添ってお話を聴き、どうすれば解決するかを相談者と一緒に考えるようにしています。

セクハラやDVの相談の時には「あなたが悪いわけではないよ」ということをしっかりと相談者に伝えます。「私にも非があった」と言われる相談者もいますが、**非は暴力的な行為を選んだ相手にある**ということをきちんと理解していただくようにしています。

Q.今までの相談業務を通して良かったことなどはありますか？

相談者が自分の正直な気持ちに向き合って「自分自身を大切にしていい」と思えるようになり、元気を取り戻す様子を見ることができた時には、サポートが役立ってよかったと思います。

Q.最近の相談を通して特に感じることがありますか？

自分の生き方を選び、引き受けていくことは自分自身にしかできないし、「何とかしてください」と言われても、相談員が直接行動を起こして状況を変えることはできません。それを理解していただけないとき無力さを感じることもあります。

また、意外なことに最近の学生にも、「女は男に合わせればいい、結婚したら妻は夫に従うべき、女の言いなりになるのは男らしくない」等の意識を持つ人がかなりいます。DVやデートDVが問題になっていますが、自分の安全安心を手放してまで相手に合わせる必要はありません。

相手との関係の中で不本意な思いをしているのであれば、気持ちの伝え方の練習（アサーション等）をすることも効果的ですね。

加害者のベースには、所有意識、特権意識があります。感情表現の問題だけではなく価値観の核になるものを変えないと、更生は難しいです。「何があっても暴力は絶対に良くない。暴力を振るった時点で『アウト！』」という価値観を社会全体で共有できるレベルに早くなるといいですね。

Q.ムーブ相談室を利用したことのない方へ、メッセージをお願いします！

こころと生き方についての様々なご相談を受けていますが、ムーブ相談室では特にジェンダーの視点を大切に取り組んでいます。親やパートナーの価値観や世間一般の常識など自分の外側にある価値基準（～らしさ、～すべきといった考え方）に縛られ、生き辛さや 居心地の悪さを感じている人に対して、その人自身の気持ちを大切にして生きていけるように、お手伝いや応援をしています。

虐待やDVなどの暴力的な環境にさらされた経験がある方だけでなく、良い子、良い妻、良い母でなければならないと頑張ってこられた方の中にも、自分が何を感じ、どうしたいのかがわからなくなっている方が少なくありません。**自分の軸を持って生きていきたいという方は、ぜひムーブ相談室をご利用ください。**

インタビューの感想

●（みい）黒瀬さんの「専門家と一緒に自分をきちんと見つめなおす機会として利用してもいいんですよ」との言葉には大変心ひかれました。お話を聞いた後、困った時の万能薬を手にした気分になりました。

●（あき）「～らしさ、～すべき」に縛られずに自分の軸を取り戻し自分の人生を生きたいと思う時、ムーブ相談室が頼りになると思いました。

ムーブ相談室のご案内

一般相談

こころと生き方、性格、人づきあい、夫婦や親、子どもとの関係など様々な心の悩みなど
TEL.093-583-3331

性別による人権侵害相談

DVやセクシャル・ハラスメントなど性別による人権侵害について
TEL.093-583-3663

他にも

女性のための**就労応援相談、弁護士による無料法律相談**などがあります。
ご相談はいずれも電話もしくは面接で。
面接相談は予約制です。

詳しくは、ホームページ等をご覧ください。

第4回「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」受賞企業等が決定！

少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働で取り組むべき重要な課題です。ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進のため、本市では、子育て支援や男女がともに働きやすい環境づくりに取り組む企業・団体等（個人を含む）を表彰し、その取り組みを広く皆様に情報提供しています。

市　長　賞（企業・団体部門）

財団法人 厚生年金事業振興団 九州厚生年金病院
院　長：多治見　司
職員数：1025名（うち女性773名）
充実した育児休業制度と院内保育所（病児保育所併設）の設置

富士通コミュニケーションサービス株式会社 北九州サポートセンター
センター長：吉田　充
社員数：509名（うち女性265名）
子育て支援ワーキンググループの活動実績と充実した職場環境

社会福祉法人 敬寿会 美咲ヶ丘
理事長：村口　年治
職員数：84名（うち女性68名）
コミュニケーションのとりやすい職場風土の確立と高い職員定着率

市長賞（個人部門）

杉　信市
杉建築設計事務所　一級建築士
長年にわたり建築設計の仕事と両立して、育児に取り組む「元祖イクメン」

奨励賞（個人部門）

松井 真理子
医療法人 真鶴会 小倉第一病院
看護師・メディカルイラストレーター
看護師でありイラストレーターという、新しい自己実現のロールモデル

【お問い合わせ先】
北九州市子ども家庭局男女共同参画推進部
TEL 093-582-2405
http://wlb-kitakyushu.jp
（はじめよう！ ワーク・ライフ・バランス）

ムーブ、レディスもじ、レディスやはたの指定管理者が決定しました！

平成23年度より、北九州市の男女共同参画推進の拠点施設である北九州市立男女共同参画センター・ムーブ、北九州市立勤労婦人センター（東部勤労婦人センター・レディスもじ、西部勤労婦人センター・レディスやはた）の3館を一体的に管理運営することとなり、北九州市議会の承認を得て、右記のとおり指定管理者が決定しました。

選定理由等詳細については北九州市のホームページ
http://www.city.kitakyushu.jp/ をご覧ください。

施設名	北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 北九州市立東部勤労婦人センター・レディスもじ 北九州市立西部勤労婦人センター・レディスやはた
指定管理者	名　称　財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム 代表者　理事長　　吉崎　邦子 所在地　北九州市小倉北区大手町11番4号
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日（5年間）

（財）アジア女性交流・研究フォーラム（KFAW）からのお知らせ

2010年11月13日（土）と14日（日）の2日間にわたって、「世界の子育て－子ども・親・社会のカタチ－」をテーマに、「第21回アジア女性会議―北九州」を開催しました。

パネリストに歌手の早見優さん、韓国の公州国立大学校のキム・キョンスク教授、シアトル市経済開発局のカーリン・ツァウグ・ブラック広報担当部長、コーディネーターとして、北九州市立大学の恒吉紀寿准教授を招き、世界の子育てに目を向けて、アメリカ、韓国、デンマークといった国々と日本の子育てを比較しながら議論を深めました。

※詳細はAsian Breeze No.61（2月下旬発行予定）に掲載しています。

お問い合わせは　KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN　財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム　〒803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4　北九州市大手町ビル3F
TEL.093-583-3434　FAX.093-583-5195　**http://www.kfaw.or.jp**

レディスもじからのお知らせ

開館24周年記念講演会「私らしく輝くための！仕事と子育て」

自分をしっかり見つめ、夫と価値観を共有し、魅力的に輝いている渡辺さんから、私流ワークライフ・バランスについて講演していただきます。

日　時　4月10日（日）13:30～15:00
講　師　女優　渡辺 梓（わたなべあずさ）氏
定　員　300名（先着順）　　**参加費**　無料
託　児　あり（1歳以上就学前まで）申込時にご相談ください。
申込み　3月3日（木）9：00から電話または来館にて受付。

北九州市立東部勤労婦人センター・レディスもじ
〒800-0051 北九州市門司区下馬寄6番8号
TEL.093-371-4649　FAX.093-371-4268
http://www.k-palace.com/moji/

レディスやはたからのお知らせ

開館34周年記念講演会「女性（おんな）の花道（おとこ）、男の花道」

現代女性が抱える生き方や働き方に対しての障害と上手く付き合い、「自分らしく生きる」事について考えてみません？

日　時　5月22日（日）14:00 ～ 15:30
講　師　内科医／作家　おおたわ 史絵（ふみえ）氏
定　員　200名（先着順）　　**参加費**　無料
託　児　あり（1歳以上就学前まで）申込時にご相談ください。
申込み　4月3日（日）9：00から電話または来館にて受付。

北九州市立西部勤労婦人センター・レディスやはた
〒805-0059 北九州市八幡東区尾倉二丁目6番6号
TEL.093-661-1122　FAX.093-661-2714
http://www.k-palace.com/yahata/